

## 平成 1 8 年度当初予算 施策別概要

### 3 2 1 交通安全対策の推進

( 主担当部 : 生活部 )

- 32101 交通安全意識の高揚に向けた啓発・教育の推進 ( 生活部 )
- 32102 安全で快適な交通環境の整備 ( 警察本部 )
- 32103 交通秩序の確立 ( 警察本部 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 県民一人ひとりが

( 意図 ) 高い交通安全意識をもち、安全で安心な交通環境の中で活動している

#### < 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年	H 1 6 年	H 1 7 年	H 1 8 年
交通事故死者数( 人 )	目 標 値	190 以下	174 以下	174 以下	150 以下 ( 20 )
	実績( 見込み ) 値	174	187	163	-

交通事故により事故発生から 24 時間以内に死亡した人の数 ( 警察本部交通企画課「三重の交通統計」)

平成 17 年の交通事故死者数の状況や、平成 24 年までに全国の交通事故死者数を 5,000 人以下とするという国の目標等を踏まえて、平成 18 年の目標値を変更します。

#### < 平成 18 年度に残っている課題 >

県内における平成 17 年の交通事故死者数は 163 人となり、前年と比べ 24 人減少しているものの、依然として多くの尊い命が交通事故で失われているなど厳しい状況にあります。このため、県民の交通安全意識の一層の高揚に向け、効果的なソフト対策を重点的に推進していく必要があります。

特に、交通事故死者数に占める割合が依然として高い高齢者を交通事故から守ることが課題となっています。

また、ソフト対策とともに、安全で安心な交通環境を整備するハード対策についても計画的、かつ、重点的に推進していく必要があります。

#### < 平成 18 年度の施策の取組方向 >

飲酒運転の追放及びシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底に重点を絞った取締りや啓発を引き続き推進するとともに、県民、市町、業界団体、関係機関等と連携しながら、四季の交通安全運動など年間を通じた啓発活動をはじめ、各種広報媒体等を活用した広報啓発、学校現場を中心にした児童・生徒、保護者等の交通安全活動、「無事故無違反チャレンジ 1 2 3 事業」等県民参加型の啓発事業を推進します。

また、交通事故死者数に占める割合の高い高齢者を事故から守るため、地域において主体的に交通安全活動を行う高齢者の人材育成、活動体制づくりを推進し、地域の特性に応じた多様な交通安全活動への支援を推進していくなど、高齢者等の交通弱者に重点を置いた交通安全教育や啓

発の取組を推進していきます。

さらに、交通事故に関する高度な分析を行い、人的・地理的要因等を明確にしながら有効な対策を進めるとともに、分析結果を県民に情報提供し、各地域の主体的な取組へつなげていきます。

安全・安心な交通環境を確保するため、信号機の新設・改良、道路標識整備、歩道や交差点改良などの交通安全施設の整備を計画的に推進するとともに、「交通事故危険箇所」の解消や「あんしん歩行エリア」の確保などの重点的な整備を推進します。

#### <主な事業>

##### 交通安全運動推進事業

【基本事業名：32101 交通安全意識の高揚に向けた啓発・教育の推進】

当初予算額： 2,994千円 6,812千円

事業概要：四季の交通安全運動など年間を通じた県民、市町、業界団体、関係機関等との連携及び新聞やラジオ等を活用した啓発などにより、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣化し、県民の交通安全意識の一層の高揚を図ります。

##### (重) 高齢者の交通安全活動総合サポート事業

【基本事業名：32101 交通安全意識の高揚に向けた啓発・教育の推進】

当初予算額： 19,940千円 20,302千円

事業概要：高齢者が交通安全を自らの問題としてとらえ、積極的に交通安全活動に取り組んでいけるよう、市町や関係機関等と連携して、高齢者の人材育成と活動基盤づくりを推進するとともに、各地域での交通安全活動に対して支援を行います。

##### (重) 交通事故分析等の高度化推進事業【基本事業名：32103 交通秩序の確立】

当初予算額： 106,522千円 19,196千円

事業概要：「交通情報総合管理システム」の運用を開始し、県内で発生する交通事故の人的、地域的な要因などについて詳細かつ高度な分析を行い、県民に情報提供するとともに、各種の交通安全対策に活用していきます。

##### (重) 交通安全施設等整備事業【基本事業名：32102 安全で快適な交通環境の整備】

当初予算額： 107,000千円 45,000千円

事業概要：県管理道路の「交通事故危険箇所」(6箇所)において、交差点のカラー舗装や照明灯の設置等の交通安全施設を整備します。

##### (重) 安全・安心交通環境整備事業【基本事業名：32102 安全で快適な交通環境の整備】

当初予算額： 73,216千円 52,836千円

事業概要：「あんしん歩行エリア」(3地区)において、LED式歩行者用信号灯器等の交通安全施設を集中的に整備して通行者等の安全を確保するとともに、「交通事故危険箇所」(21箇所)において、自発光式道路鋸等の交通安全施設を集中的に整備し、交通事故危険箇所の解消を図ります。